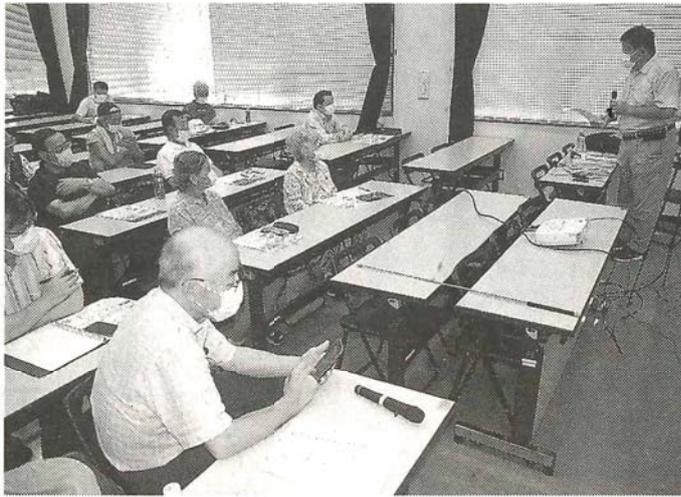


令和3年(2021年)9月6日 (月曜日)

駅南再開発

# 「市民負担過大に」

GW三島 問題点や地質説明



東街区再開発の問題点などを話す渡辺さん(右)  
三島市民文化会館

る」と指摘した。加えて、「市民協働でアイデアを募っているか」「県との協力ができているか」と疑問点を述べた。

続いて、熱海市伊豆山の土石流災害についても調査している工学博士塩坂邦雄さんが、溶岩が地下水を支えている三島市の地質構造を説明した。最後に来場者を交えて、同事業について意見交換した。

NPO法人グラウンドワーク三島(GW三島)は4、5の2日間、JR三島駅南口東街区再開発事業に関する勉強会を三島市一番町の三島市民文化会館大会議室で開いた。2日間で市民ら延べ約60人(オンライン除く)が参加し、同事業の問題点や三島の地質について学んだ。

5日の講演では、GW三島の渡辺豊博専務(農学博士)が、市民税だけで56億円を使う同事業が「コロナ禍で過大な市民負担にな